

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年6月5日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	法学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2026年5月26日
明治大学卒業予定年月	2028年3月
<b>留学先大学について</b>	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ニューヨーク州立大学バッファロー校 (日本語名) University at Buffalo, The State University of New York (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025年8月～2026年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月～12月 2 学期: 1月～5月 3 学期: 4 学期:
学生数	30000人
創立年	1846年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ドル) (1 現地通貨 = 150 円)	B 日本円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	10000	円	
食費	2000	円	Dining point/自炊
図書費	250	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費		円	eSIM 日本とアメリカのもの両方使った
現地交通費	0	円	徒歩/スクールバス ( <input type="checkbox"/> 大学まで 徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)		円	ニューヨーク、ボストンなど
被服費	400	円	
医療費	0	円	
保険費	1800	95260 円	形態: UB/明治大学
渡航旅費		約 300000 円	
ビザ申請費		70000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	(= 円)	465260 円	
総計(A+B) ※円		約 3800000 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。



## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: \_\_\_\_\_)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: 幸い、大きな問題ありませんでした。わからないことがあれば、留学アドバイザーの方に聞きました。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学付近の治安は非常によかったと思います。それでも、夜間の 1 人での外出は避けるなどのことは大切だと思います。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学や寮のインターネットは基本的に安定していましたが、何度が不安定になったことがありました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

留学前に多少ドルを現金で持っていました。現金は友達と割り勘をする際に利用しました。ほとんどはカードを利用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

基本的になんでも現地で調達できます。日本のインスタント食品お菓子や化粧品などは現地では割高になるので持って行くといいかと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
MUS204 Music and Money		音楽と経済
科目設置学部・研究科	MUS	
履修期間	秋	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Derek R. Strykowski	
授業内容	音楽と経済について学ぶ。クラシック音楽から現代の k-pop まで作曲家や経済の流れを学ぶ。	
試験・課題等	小テスト五回とレポートが課される。	
感想を自由記入	クラシック音楽とパトロンについての授業が面白かった。クラシックだけではなく BTS など馴染みのある音楽についても学ぶことができる点がよかった。教授が時々ピアノを弾いてくれるのが印象的だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
SOC101 Introduction to Sociology	社会学導入
科目設置学部・研究科	SOC
履修期間	秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Sarah Ford
授業内容	社会学の基本を学ぶ授業。基本的な社会学の学説や理論を学ぶ。
試験・課題等	Final
感想を自由記入	400人受講できる大教室での授業だった。特に経済的な不平等について扱った授業が印象的だった。毎回の授業で、小クイズがありそれが出席に変わるものだった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
SOC 204 Social Justice	社会正義
科目設置学部・研究科	SOC
履修期間	秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(リモート)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Danielle Johnson
授業内容	人種や民族、障害、環境などによる社会的な不平等について考察する。
試験・課題等	試験はなく、エッセイとプレゼンテーションがあった。
感想を自由記入	リモートの授業だったが、社会的な不平等はさまざまな要因で形成されることを学んだ。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
JPN 496 Internship Practicum	インターンシップ実習
科目設置学部・研究科	JPN
履修期間	秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Mitsuaki Shimojo
授業内容	週4時間日本語を学ぶ生徒との間の conversation hour に参加する。また交流会の準備し、実施する。
試験・課題等	最終レポート
感想を自由記入	日本語を学ぶ生徒と日本語・英語の両方を使ってコミュニケーションをとった。日本語を英語で説明することの難しさを感じた。日本に興味を持ってくれる学生の存在を改めて実感した。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
AS 221 Survey of Asian Literature	アジア文学の調査
科目設置学部・研究科	AS
履修期間	春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 80分が 2回
担当教授	Walter Hakala
授業内容	アジア文学(マハーバーラタ、千夜一夜物語、源氏物語、冬のソナタ)について学ぶ。
試験・課題等	小テスト
感想を自由記入	親しみのあるアジア文化について英語で学べた点がよかった。課題の読む量が多く、文学的な表現もあるので少し大変だったが、特に源氏物語を学べた点に興味深かった。教授はフレンドリーで親身になって指導してくれる。加えて日本に興味があり日本に関する質問もしてくれるので、話しやすい。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
GGS Intro Gender & Wmm studies	ジェンダーと女性研究の入門
科目設置学部・研究科	GGS
履修期間	春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(リモート)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Mary Lyn Nutting
授業内容	ジェンダーと女性学の基本概念を学習する。また、女性運動の歴史、ジェンダーの社会的構築、ジェンダーとメディア、政治について考察する。
試験・課題等	final、プレゼンテーション
感想を自由記入	ジェンダーと女性学について幅広く学べた。リモートの授業ではあったがほぼ毎回発言を求められるので、貴重な体験だった。教授も親切で発言に対してコメントを返してくれる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
PSC 102 Intro Internat Politics	国際政治の導入
科目設置学部・研究科	PSC
履修期間	春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Elena V. McLean
授業内容	国際政治における問題、学者によるそれらの見解について学ぶ。戦争と平和、国際機関が果たす役割、今後の世界の見通しについて理解する。
試験・課題等	小テスト
感想を自由記入	政治・経済における各国の動きとその歴史について学ぶことができる。世界史を学んだことがある人は理解がしやすいと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
LAW 101 Intro American Legal System	アメリカ法システムの導入
科目設置学部・研究科	LAW
履修期間	春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	IEVGEN ZVIERIEV
授業内容	国民、政府、立法府、行政府、裁判所など法制度、その運用方法を学ぶ。アメリカの主要法の本質について学ぶ。
試験・課題等	クイズ、final
感想を自由記入	教授に指名され答える授業だったのでハードな授業ではあった。しかし、法学部生としてアメリカで法律の授業を履修でき、アメリカの法について学ぶことができたのは価値があった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
JPN Internship Practicum	インターンシップ実習
科目設置学部・研究科	JPN
履修期間	春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Mitsuaki Shimojo
授業内容	週4時間日本語を学ぶ生徒との間の conversation hour に参加する。また交流会の準備し、実施する。
試験・課題等	最終レポート
感想を自由記入	日本語を学ぶ生徒と日本語・英語の両方を使ってコミュニケーションをとった。日本語を英語で説明することの難しさを感じた。日本に興味を持ってくれる学生の存在を改めて実感した。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)  
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。  
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。  
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	留学説明会に参加
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	協定留学出願
留学開始年	1月～3月	書類手続き
	4月～7月	VISA 手続き・面談
	8月～9月	渡航/8月下旬:秋学期開始
	10月～12月	秋学期・冬休み
留学/帰国年	1月～3月	冬休み・春学期
	4月～7月	5月中旬:春学期終了/帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私がアメリカを選んだ理由は英語力の向上が期待できること、さまざまな文化に触れられると思ったからです。また、ニューヨーク州立大学バッファロー校は、留學生の数が多く法学部が学部段階から設置されていることに魅力を感じ留学先に選びました。

授業は、現地の留学アドバイザーの方から「授業以外にも学べるがたくさんあるので、授業は多くても5つ、6つだと大変だと思う」というお話を聞きました。そこで秋学期は4つ、春学期は5つの授業を履修しました。授業とそれ以外のバランスがちょうどよかったと思います。また、特定の学部には所属しないので、比較的自由に授業を選択できました。人気のある授業については早めに登録を行う方がいいと思います。授業の予習や復習は大変でしたが、慣れていくうちにペースが掴めるようになるので、心配しすぎなくても大丈夫です。留学当初は、授業中、学生が自分の意見を持ち、それを堂々と発表できることに圧倒されました。しかし、教授は、学生に完璧な英語で話すことを求めているのではなく、学生の意見や考えを聞きたがっているということを途中で気づきました。そこからは、英語で発言をするのが緊張はしますが、少し楽になりました。教授は、名前を覚えてくれたり、発言に丁寧なフィードバックを返してくれたり親切な方ばかりです。

授業時間自体比較的短く、授業の予習・復習以外の時間はさまざまなことに使えます。友達とご飯を食べたり話したり、どこかに遊びに行ったり、買い物に行ったりなどです。バッファローは、ナイアガラの滝に近く、車で30分ほどでいくことができます。私も授業前のオリエンテーションでナイアガラの滝に行くことができました。また、寮のイベントや学生主体のイベントが毎日のように行われているので SNS などから情報を得て、参加してみると交流の場が広がると思います。遊園地が学校に設置されたり、アーティストやマジシャンの方がミニライブを行ってくれたり、アメリカならではの経験になりました。ジムも複数あり、利用していました。買い物にはスクールバスや友達に車に乗せてもらって行っていました。食事については、自炊と大学内で利用できるダイニングポイントを利用していました。慣れないうちは大学内で食事を買うことが多かったのですが、途中からは自炊も並行してするようになりました。寮については、自炊するか、1人の時間を大事にしたいかどうかなどを考慮して選ぶと良いかと思います。長期の休みもあるので旅行などするのも選択肢の一つかなと思います。

ニューヨーク州立大学バッファロー校に留学するにあたって、冬はとて寒いということをお伝えしたいと思います。厚めのコートやマフラー、スノーブーツなど防寒できるものは日本から持っていくか、現地で購入するなどして対策するのがおすすめです。冬の期間はスクールバスを利用していました。私は Ellicott の Red jacket という寮に滞在していました。バスストップがとても近く便利でした。その上多くの授業が行われている North Campus にも近かったので、Ellicott の寮はそういった観点からも利便性が高く、個人的にはおすすめできるかなと思います。

私は、トランプ大統領による影響により、ビザ面接の予約にとっても苦労した記憶があります。留学が決定したら手続きなどは早めに行くことを意識すると良いと思います。また、円安などの影響もあって留学を迷われている方もいらっしゃるかもしれません。明治大学の留学担当の方や先輩が、説明会や相談会を開催してくださっているので、留学を検討されている方は足を運んでみるのも良いかもしれません。給付型の奨学金も充実しています。

私はこの留学期間、大変なこともありましたが、人生において貴重な体験になったと思います。留学先で出会った友達や、同じ明治大学の留學生などたくさんの人に支えてもらいながら、いろいろな経験ができ、自分自身も留学前と比べ成長したと感じられる部分が多くあったからです。留学前はさまざまな不安や心配事があると思いますが、全てなんとかなります。

みなさんの留学が実り多いものになることを願っています。